



# 取扱説明書

*Drift*

**YJ-18 Series**

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、ヤマハヘルメットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の正しい取扱方法について説明してあります。ご使用になる前に本書を必ずよくお読みいただき、安全に快適なバイクライフをお楽しみください。また、本製品独自の機能や取扱方法がありますので、ヘルメットの取り扱いに慣れた方も必ずお読みください。読み終わったあとは、必ず保管してください。

この商品は日本国内の規格に適合しています。

本書では正しい取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。



**警告** 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

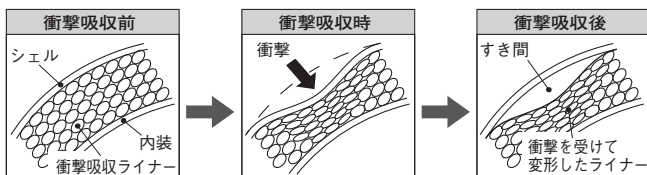


**注意** 取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

**要 点** 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

### 警告 ヘルメットの保護能力には限度があります

- ヤマハヘルメットは国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。
- ヘルメットは購入後3年で交換してください。  
正常に使用しても目に見えない部品の劣化が進み、性能は低下していきま  
す。購入後3年を過ぎたヘルメットは、衝撃を受けたときに性能を充分発  
揮できない恐れがあります。早めの交換をお勧めします。
- 大きな衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。  
ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで衝撃エネルギー  
を吸収します。衝撃を受けたあとは、外観上損傷がなくてもライナーが  
変形している場合があります。変形した場合、再度衝撃を受けたときにエ  
ネルギーを吸収できず、重大なけがにつながる恐れがあります。



- 頭のサイズに合ったヘルメットを使用してください。  
大きすぎるヘルメットは、走行中にぐらつくため危険です。また、小さ  
すぎるヘルメットは、頭を締め付けるため痛くなることがあります。

### 警告 必ず守っていただきたい注意事項

- 使用前点検を必ず実施してください。  
サンバイザー、内装等の構成部品が正しく取り付けられていないと、走行  
中にサンバイザーが外れるなど運転の妨げになり、思わぬ事故につながる  
恐れがあります。サンバイザー・内装等が確実に固定されているか確認し  
てから使用してください。
- あごひもは緩みがないように長さを調節し、正しく留めてください。  
あごひもの長さが調節されていない、または正しく留められていないと、  
走行中にヘルメットがずれたり、万一転倒したときにヘルメットが脱げ  
て、頭が保護されず、重大なけがにつながる恐れがあります。
- ワンタッチバックルに異物等が混入した状態で使用しないでください。
- 汚れや傷の付いたサンバイザーで走行しないでください。  
視野の妨げとなり、大変危険です。汚れている場合は汚れを除去し、傷が  
付いている場合は交換してください。
- 走行中の環境変化に注意してください。  
突然の雨や急激な温度変化によってサンバイザーがくもり、視界不良で思  
わぬ事故につながる恐れがあります。環境変化が予測されるときは、速度  
を落として走行してください。
- ヘルメットを車両のホルダーに付けたまま走行しないでください。  
運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。また、ヘルメ  
ットに傷が付く恐れがあります。
- ヘルメットに塗料・接着剤・ガソリン等の溶剤を付けしないでください。ま  
た、直射日光のあたる車内や、暖房機の近くなど高温になる場所に長時間  
放置しないでください。  
シェルや衝撃吸収ライナーが変形し、衝撃吸収力が著しく低下する恐れが  
あります。
- 改造は絶対にしないでください。  
ヘルメットに穴をあけたり、削ったりすると性能が損なわれ、充分に保護  
能力が発揮できない恐れがあります。

**警告** 色付きサンバイザー使用上の注意事項

- トンネル及び夜間走行の注意  
夜間、トンネル走行時、雨天時はサンバイザーを使用しないでください。  
視界不良により思わぬ事故につながる恐れがあります。

**注意** 必ず守っていただきたい注意事項

- ヘルメット、サンバイザーの清掃は、薄めた中性洗剤を使用してください。  
熱湯（50℃以上）・塩水・ベンジン・シンナー・ガソリン等を使用すると、ヘルメットやサンバイザーが損傷する恐れがあります。清掃するときは、薄めた中性洗剤を使用し、柔らかい布でふき取ってください。
- ヘルメットを持ち運ぶときは、外装があごひもを持ってください。  
内装やサンバイザーを持つと、ヘルメットが落下する恐れがあります。

**注意** ヘルメットボックスに収納するときの注意

ヘルメットボックスにヘルメットを収納するときは、下に押し付けたり中で回転させたりしないでください。部品が外れる恐れがあります。

※ヘルメットに取り付けてある部品は、規格上（JIS規格／SG規格）転倒等の衝撃を受けたときに容易に外れるように、両面テープ等で固定されています。

**注意** サンバイザー取り扱いの注意事項

- 乾いた布でふかないでください。  
サンバイザーの汚れを取るときは、水で軽く洗い、柔らかい布でふき取って自然乾燥させてください。強くこすると傷が付く恐れがあります。
- 薄めた中性洗剤以外は使用しないでください。  
汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使って洗い流してください。酸性・アルカリ性系の洗剤及び有機溶剤※1等は絶対に使用しないでください。サンバイザーの割れ、蒸着メッキ膜のはく離の原因となります。  
※1：ガソリン・シンナー・ブレーキオイル・市販の撥水剤・くもり止め・ブレーキ等のクリーナー

**注意** 内装取り扱いの注意事項

- 雨天走行や汗等で内装が汚れたときは、内装を取り外して洗うことができます。内装を洗うときは、中性洗剤を使用し、ぬるま湯でやさしく押し洗いしてください。洗ったあとは真水で十分にすすぎます。洗い上がった後、風通しのよい場所で陰干しします。乾燥させるためにヘアドライヤーなどは使わないでください。

**要 点** つや消し塗装の汚れの取りかた

薄めた中性洗剤を使用して、洗い流してください。



SGマークはSafe Goods（安全な製品）の略号で、一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造・材質・使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について安全性品質に関するSG基準を定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。



国は消費生活用製品のうち、構造・材質・使用状況から見て、一般消費者の生命又は身体に対して、特に危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品を「特定製品」として指定しております。「特定製品」の製造を行う事業者は国に届け出を行うとともに、国の定める技術水準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品には「PSC」マーク（Product Safety＝製品安全の略号）を表示し、「PSC」マークの表示がされていない「特定製品」の販売を禁じる事としています。

#### 乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので十分ご注意ください。

一般財団法人製品安全協会/日本ヘルメット工業会

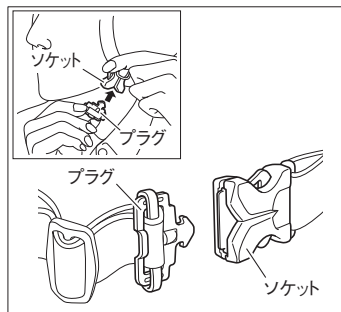
#### SGマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているSGマークは、製品安全協会が定めた認定基準に適合するものであることを示しています。万一このヘルメットの欠陥により人身事故が発生した場合は、一般財団法人製品安全協会のSGマーク被害者救済制度による賠償措置の対象となります。但しオートバイを特殊な用途（レース、サーカス等）に用いている際の負傷や、SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

#### SGマークについてのお問い合わせ先

一般財団法人製品安全協会 消費生活用製品PLセンター  
フリーダイヤル：0120-11-5457 TEL：03-5808-3303  
〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F

#### ■ あごひもの留めかた

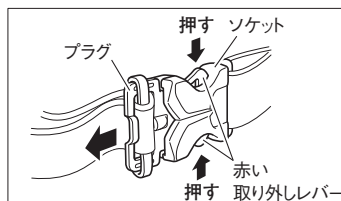


- ①ワンタッチバックルのプラグとソケットの裏表を確認します。
- ②プラグをソケットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

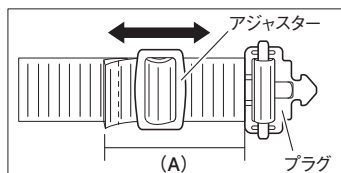
#### ▲警告

あごひもは確実に留めてください。留められていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがにつながる恐れがあります。

#### ■ あごひもの外しかたと調節



- あごひもの取り外し  
ソケットの赤い取り外しレバーを指ではさむように押し、プラグを引き抜きます。

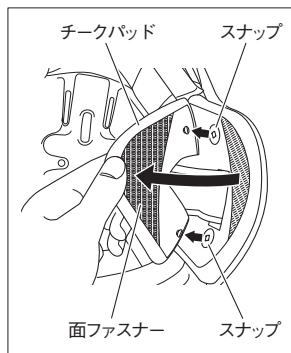


- あごひもの調節  
プラグ部のあごひもを緩め、アジャスターをスライドさせて(A)の長さを調節します。

#### ▲警告

- 走行前にあごひもを引っ張り、確実に固定されているか確認してください。固定されていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがにつながる恐れがあります。
- 走行中にあごひもの脱着や調節をしないでください。運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

## ■ 内装の取り外し



内装を清潔に保つために、チークパッドとインナーパッドは取り外して洗うことができます。

## 要 点

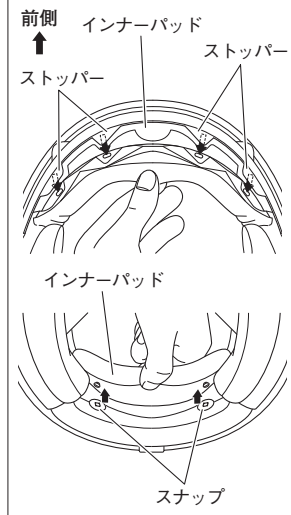
内装を洗うときは、薄めた中性洗剤で押し洗いし、陰干しをします。

## ● チークパッドの取り外し

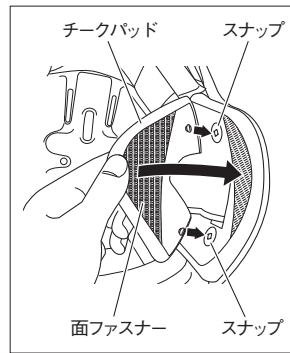
- ① ヘルメットを押さえながらチークパッドの面ファスナーとスナップ2ヶ所を外します。

## ● インナーパッドの取り外し

- ① 前側のストッパー（4ヶ所）と後側のスナップ（2ヶ所）を外し、インナーパッドをヘルメット本体内部から抜き取ります。



## ■ 内装の取り付け

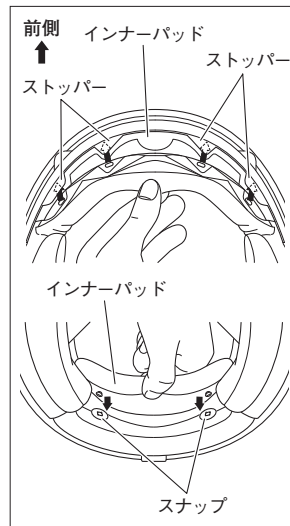


## ● チークパッドの取り付け

- ① 左右いずれのチークパッドか確認します。
- ② チークパッドのスナップ2ヶ所と面ファスナーを合わせ、「パチン」と音がするまでスナップを押さえ付けます。

## ● インナーパッドの取り付け

- ① インナーパッドの前後を確認し、ヘルメット本体内部に入れます。
- ② 前側のインナーパッドは、インナーパッドの孔をストッパー（4ヶ所）に奥まで挿入します。
- ③ 後ろ側のインナーパッドは、スナップ（2ヶ所）を合わせ、「パチン」と音がするまで押さえ付けます。



## ■ サンバイザーの開閉

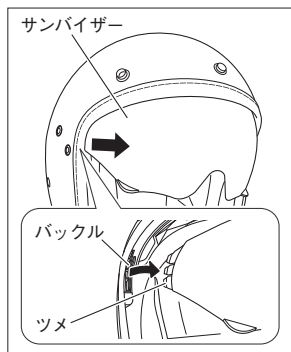


- サンバイザーの開けかた・閉めかた  
サンバイザーの両端にあるツメを掴んで開閉します。

## ⚠ 警告

- 運転中にサンバイザーを操作しないでください。サンバイザーが外れ、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 夜間、トンネル走行時、雨天時はサンバイザーを使用しないでください。視界不良により思わぬ事故につながる恐れがあります。
- サングラスと併用しないでください。視界が暗くなり思わぬ事故につながる恐れがあります。

## ■ サンバイザーの取り外し



サンバイザーは取り外して清掃することができます。

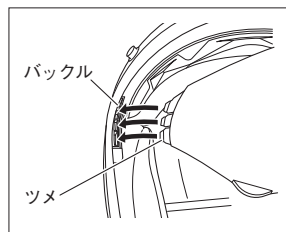
- ①サンバイザーの端を持ち、バックルからツメをまっすぐ引き抜きます。片側ずつ外してください。

## 注意

引き抜くときは少しずつ力を加えて慎重に作業してください。瞬間的に強い力で引き抜くとツメが破損する恐れがあります。

- ②反対側のツメも外します。

## ■ サンバイザーの取り付け



- ①サンバイザーのツメをバックルにまっすぐ差し込みます。「パチン」と音がするまで押し込みます。
- ②サンバイザーを動かして確実に取り付けられていることを確認します。

## ⚠ 警告

- サンバイザーが正しく取り付けられていないと、走行中にサンバイザーが外れ、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- サンバイザー取り付け後は、サンバイザーの開閉作業を数回繰り返し、ツメが確実にハマっていることを確認してください。

## 注意

サンバイザーに指紋などの汚れがついたときは、湿らせたやわらかい布でやさしくふいてください。

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア



0570-050814  
ゴ ー ワ イ ズ

オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）  
9:00～12:00 13:00～17:30

◎一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。  
◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地 FAX.053-443-2187

輸入元 ヤマハ発動機株式会社 CS本部 部品統括部  
静岡県袋井市久能3001-8

製造元 HJC VINA LIMITED COMPANY

CN6 Plot, Khai Quang Industrial Zone, Vinh Yen City, Vinh Phuc Province, Vietnam  
2015.02 Made in Vietnam